

「阪神港開港150年記念 国際物流シンポジウム」について

- 7月6日、神戸国際会議場メインホールで「阪神港開港150年記念 国際物流シンポジウム～未来のAI、ICT社会と物流の変化～」を開催、およそ600名が来場した。
- 財部誠一氏による基調講演、神戸港湾事務所長および大阪港湾・空港整備事務所長による神戸港および大阪港の開港後150年の整備の歩みについての発表、黒田勝彦神戸大学名誉教授および4名のパネリストによるパネルディスカッションが行われた。

■ 日 時：平成29年7月6日(木) 13:30～16:30

■ 主 催：国際物流戦略チーム(事務局：国土交通省近畿地方整備局、同近畿運輸局、同大阪航空局、関西経済連合会)

■ 共 催：神戸開港150年記念事業実行委員会、大阪港開港150年記念事業推進委員会、国土交通省近畿地方整備局

■ 場 所：神戸国際会議場メインホール

■ 来場者：602名

【国会議員】関環境副大臣、末松国土交通副大臣(代理 瀧野秘書)、藤井国土交通大臣政務官(代理 竹内秘書)、赤羽衆議(代理 治井秘書)、濱村衆議(代理 矢舗秘書)、伊藤参議(代理 園谷秘書)

【首 長】久元神戸市長(代理 岡口神戸市副市長)、吉村大阪市長(代理 藪内港湾局長)

【国土交通省】近畿地方整備局：池田局長、田所副局長 神戸運輸監理部：吉田運輸監理部長 等

【その他】国際物流戦略チーム構成員 等

■ 基調講演概要：「IoTで日本は世界をリードする」をテーマに、AIやIoTの本質はどのようなものかを本人の体験等を交えてお話しされた後、AIやIoTを取り込むことによる日本の産業の発展についてお話しされた。

■ 神戸港・大阪港発表概要：神戸港および大阪港の開港後150年の整備の歩みについて発表された。

■ パネルディスカッション概要：「未来のAI、ICT社会と物流の変化」をテーマに、黒田神戸大学名誉教授をコーディネーターとして、民間企業・団体の4名のパネリストによるパネルディスカッションを行った。EコマースやAIロボットの増加に伴う国内・国際物流の変化について議論がなされた。



池田局長 開会挨拶



関環境副大臣 来賓挨拶



岡口神戸市副市長 来賓挨拶



財部誠一氏 基調講演



開会前の会場の様子



久米神戸港湾事務所長 発表



三島大阪港湾・空港整備事務所長 発表



黒田勝彦名誉教授(コーディネーター)



パネルディスカッションの様子

【パネリスト(左写真の左から)】
パナソニック(株)：安藤健太郎氏
ヤマト運輸(株)：北村稔氏
国際港湾協会：篠原正治氏
(株)日立物流：神宮司孝氏